



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!

Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 56

平成30年3月1日

※岩城中学校の学校評価No.1を載せます。今年度を反省し、来年度に生かしていきたいと思ひます!

岩城中学校学校評価シート No. 1

評価領域

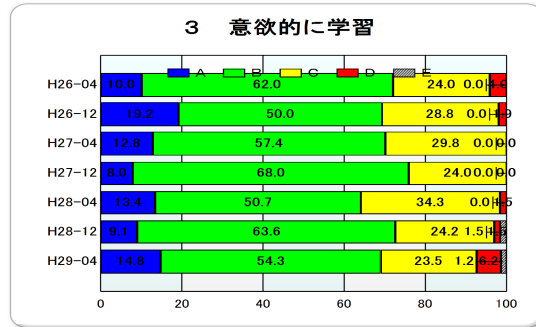
学習指導

重点目標 実践的な指導力を培う研修の充実
「学ぶ喜びを感じ、主体的に学び続ける生徒の育成」

内容(基準)	時期	A	B	C	D	E	評点
3 お子さんは意欲的に、いきいきと学習に取り組んでいると思ひますか?	H26-04	10.0	62.0	24.0	4.0		2.8
	H26-12	19.2	50.0	28.8	1.9		2.9
	H27-04	12.8	57.4	29.8	0.0		2.8
	H27-12	8.0	68.0	24.0	0.0		2.8
	H28-04	13.4	50.7	34.3	1.5	0.0	2.8
	H28-12	9.1	63.6	24.2	1.5	1.5	2.8
	H29-04	14.8	54.3	23.5	6.2	1.2	2.8

(A:とて意欲的 B:比較的意欲的 C:あまり意欲的でない D:全く意欲的でない E:わからない)

現 状



本校は、諸調査や学校訪問の評価等から、大きく評価されている。また、生徒会学習委員会の活動と連動した家庭学習・学習習慣への取組など、生徒の学習に向かう意識が高まってきている。多くの教育関係者等の訪問を受け入れ、授業を参観した先生方からは、本校の授業づくりへの取組について高い評価を得てきた。しかし、主体的に学び続けるという点においては、本県同様に課題である。また、携帯・スマホ・ゲーム機・音楽再生機等によるネット安

全と依存症による家庭学習を含めた諸課題も山積している。学習への意欲面で、意欲的でない・わからない(C+D+E評価)と感じている保護者は3割弱である。学んだ結果はもちろんだが、『学び方』を身に付けて、生涯学び続ける力へと発展させていきたい。そのためにも、教育活動全体を通して、『学ぶ喜び』や『学ぶことの大切さ』について深く考えさせ、意欲的に、いきいきと学習に取り組む生徒をめざしたい。そして、対話力を身につけ人間的によく生きる「生きる力」を身につけさせたいと考える。

P 計画

具体的な目標 3：お子さんは意欲的に、いきいきと学習に取り組んでいると思ひますか? A+B評価を80%以上を目指す。(E評価「わからない」を0%を目指す。)

- 目標達成のための方策**
- 岩中「学習の流れ」を基本に、確かな学力を身に付ける指導を徹底する。
 - 「問い」を発するのための多様な言語活動を工夫し、語彙力や質問力・対話力を育成し、感性を磨く。
 - 生徒に身に付けさせる力を明確にした、課題提示と発問づくり及び学習過程を工夫する。
 - 夢や希望・目標を明確にし、学習への意欲を高め、小学校との関連も図り、計画的なキャリア教育を推進する。
 - 「意和氣チャレンジプラン」で小中連携の意識化を図り、生徒・保護者への啓発をする。
 - 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を推進し、家庭地域の力と心を双方向的に生かす。

- 具体的な取組状況**
- 研究・研修の日常化を推進し、職員相互の授業参観も行い、授業改善に向けてお互いに高め合ってきた。
 - 学ぶことや考えさせることと教えるべきことをはっきりさせ、課題提示と発問づくり及び学習過程の工夫について協議し指導に生かしている。
 - 基礎的・基本的な知識の定着に向けて「岩中タイム」を有効に活用している。
 - 「意和氣チャレンジプラン」を作成し、学区全戸に配布した。小中連携の意識化を図り、保護者にも理解していただき、小学校と連携した9年間の学習習慣を図っている。
 - 総合的な学習の時間『LIFE』を充実させ、キャリア教育を推進している。
 - 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を推進し、家庭・地域の力と心を生か

D 実践

すために、学校における学習や生活の状況を公開し（授業参観、学年主任から週予定学級担任から学級通信、生徒指導主事から生徒指導だより、養護教諭から保健だより校長から校報「いわき」）理解を得ている。

達成状況	内容(基準)	時期	A	B	C	D	E	評点
	3 お子さんは意欲的に、いきいきと学習に取り組んでいると思いますか？	H29-04	14.8	54.3	23.5	6.2	1.2	2.8
	H29-12	11.1	69.8	19.0	0.0	0.0	2.9	



(A:とても意欲的 B:比較的意欲的 C:あまり意欲的でない D:全く意欲的でない E:わからない)
A + B 評価は80.9%で、E 評価は0%となり、目標達成を達成することができた。

自己評価	(評価)	<p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県外教育関係者やC・Sの学校見学会等において、授業を参観された方からは、本校の授業づくり・改善への取組、生徒の学習に向かう姿勢等について高い評価を得ることができた。 ○「学ぶ喜びを感じ、主体的に学び続ける生徒の育成」の研究テーマの下、授業改善に向けた取組や研修を積極的に行ってきた結果、諸調査や学校訪問の評価等において成果が表れた部分も多くある。また、生徒会学習委員会の活動と連動した家庭学習・学習習慣への取組など、生徒の学習に向かう意識は高まってきている。 ◆小学校の学習内容の定着に課題があり（特に算数と理科）、生徒の特質にも変化が見られ、主体的に学び続けるという点においてはまだ満足のいく段階までは達することができない。生徒一人一人に寄り添いながら、教育活動全体を通して『学ぶ喜び』や『学ぶことの大切さ』について、深く考えることができるようにしていきたい。 	C 評価
	B		

評価基準
 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標も達成できていない
 C：具体的な活動がなされおらず、目標も達成できていない

学校関係者評価と意見	A	<ul style="list-style-type: none"> ○「小中見学会」の実施等、地域との交流に協力的であると思う。 ○学校の学力向上にむけた取組が素晴らしいと思う。 ○生徒の授業態度が良く、積極的に発表している姿が素晴らしい。 ○全国学力・学習状況調査でも本校の学力は高く、評価すべき点である。 ○携帯、ゲーム機、音楽再生機などによるSNS(インターネット)などに時間を多くとられていると感じます。 ○E評価が0%だったのはとても良かったと思う。 ○A+Bで80%以上、それにE評価が0%の達成ということは、評価してよいことだと思います。目標に向かって努力していくことが大切。先生方には、大変良くやっていただいていると思います。これからもよろしくお願いします。 ○岩城中学校学力向上推進委員会を設置し、他校に例をみない年間十数回にわたる小中連携の授業研究会の実施をはじめ、授業改善に向けた取り組みや研修、また、生徒会学習委員会の活動と連携した家庭学習・学習習慣への取組の成果が達成状況に現れてきているものと思われる。 ○主体的に学び続けるなどの諸課題はあるが、諸調査や学校訪問等で授業づくりに高い評価を得ていることを糧に今後も教職員が丸となり、学習意欲を導き、課題を見つけ、そして情報を共有しながら生徒一人ひとりに寄り添った指導を継続することによりさらに向上すると思われる。 ○「子ども達のいきいき学習に取り組んでいる」の評価が80%もあるのは、先生達の指導力と研修の成果だと思います。ありがとうございます。グラフから家庭学習の大切さを感じますね。これからもよろしくお願いします。 ○学力検査の結果は、小学校時代からどのように推移しているのかを情報交換しながら指導に生かしていければいい。 	C 評価
	学校運営協議会委員の方の評価で、一番多かった評価です。		

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の取組による生徒の学ぶ姿勢と成果について高い評価が得られた。来年度は具体的にもっと目標を絞って取り組んでいきたい。 ○小学校における学習内容の理解の定着に問題がある数学と理科において、指導方法の工夫改善を行い、市平均に近づけていきたい。 ○小学校-中学校の9年間を見通し、学校本来の機能が発揮できる実行力のある小中連携に取り組んでいきたい。 	A 実践
-----------------------	--	------